

コミュニティ助成事業で整備しました

コミュニティ助成事業とは、(財)自治総合センターが、自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とし、宝くじの普及広報を行うとともに地域社会の健全な発展を図ることを目的に、様々な「地域活動」に対し助成を行うものです。平成15年度事業として、この助成を受けた地域、団体、集落のうちのいくつかを紹介します。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

赤 泊 杉野浦獅子保存会

杉野浦獅子保存会では大獅子の頭と幕、祭りの半纏はんてんを新調しました。上浦祭りでは毎年勇壮な舞を披露する杉野浦獅子。これによりコミュニティ活動のさらなる活性化を図っていくことにしています。



▲半纏



▲大獅子の頭



▲上浦まつり



新 穂 下新穂集落、内巻鬼太鼓保存会、新穂中央鬼太鼓保存会

下新穂集落ではこれまでも“はすまつり”を独自に行ってききましたが、その際に利用するテントや音響機器、調理器具、収納庫などを整備しました。集落では「今後は“はすまつり”だけではなく、集落内で定期的に交流の場をつくりコミュニティの輪づくりにつなげていきたい」と話しています。

◀下新穂



▲新穂中央鬼太鼓保存会



▲内巻鬼太鼓保存会

内巻・新穂中央の両鬼太鼓保存会では鬼太鼓の面や衣装、太鼓などの道具一式を新調しました。4月の祭りでは新しい道具でにぎわいをみせ、これからも佐渡の代表的な伝統芸能である鬼太鼓の継承に役立てるものと期待されます。

両 津 緑化推進コミュニティ

旧両津市が主体となり、地元ボランティアのコミュニティ組織による植栽活動を行いました。金北山を背景に加茂湖が美しく映える、両津・椎崎温泉の加茂湖側の道路沿い約60mの場所に、スイセンと彼岸花の球根を植えました。これらの花が一斉に咲くのが楽しみです。



▲全景



▲植栽活動

